

ウズベキスタンにおける問題点と要望

	区分	意見元	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法
12	為替管理	日機輸	(1)	現地通貨から外貨への兌換の困難	・同国においては中央政府が外貨交換を厳格に管理しており、実質的には外貨の兌換に規制がかかっている状況にある。申請に応じて政府から各企業に外貨が割り当てられているが、スムーズに外貨が割り当てられるケースは少なく、また実態として二重為替(或いは三重為替)が存在していることもあり、ビジネスの裾野を拓げる上での障害となっている。 (変更)	・外貨交換規制の緩和。	
		日機輸	(2)	為替・送金リスク	・ハードカレンシーで決済する場合、輸入者が外貨交換の免許を持っているか、持っても年間の交換可能額に収まっている必要がある。また、交換可能額の上限に届いていなくても、当局の判断で交換ができない場合がある。	・ハードカレンシーでの決済の柔軟化・迅速化。	
		日機輸			・ハードカレンシーでの決済時、対外貿易経済省をはじめ、多くの政府関係省庁の決裁が必要となり、かなりの時間を要する。 ・現地通貨(スム)からハードカレンシーへ換金する場合、為替の変動が激しく(公定レートと市場レートが存在する)、リスクがある。		